

# 令和元年度 学校評価(まとめ)

長野県阿智高等学校

## 1 今年度の重点目標について

- ① 教科指導と進路指導の充実を図り、神坂学習塾と連携し四年制大学等への進学実績の向上に努める。

### ○おもな取組

#### (1) 進路指導係

進学補習、就職補習、公務員補習、外部模試、面接指導、小論文指導、特編授業

#### (2) テスト一週間7時限授業

- ① 今年度もテスト前一週間は、7時限授業を実施した。
- ② 7時限目(15:50～16:40)ホームルーム教室でテストに向けた学習に取り組む。
- ③ 各教科でテスト対策のプリント教材などを用意する。

#### (3) 検定合格を動機づけとした指導

- ① 実施検定：漢字検定(国語科)、英語検定(英語科)、情報処理検定等(商業科)
- ② 1年生は全員受検とする(漢字検定(1回)、英語検定(1回))

#### (4) 模試等の実施

1年…全国模試2回、基礎力診断テスト3回  
2年…全国模試4回、医療模試1回、基礎力診断テスト2回  
3年…全国模試5回、ほか

#### (5) 神坂学習塾との連携

- ① ニーズに合わせた少人数講座や習熟度別講座の開講。
  - ア 習熟度別に基礎・標準、センター試験対策の三つのコースに分かれての講座編成。
  - イ 英検対策講座の開講。
- ② 大学合格研究会
  - ア 毎月第1金曜日に実施。
  - イ 講師は神坂学習塾専任講師(英語)
  - ウ 英語のセンター試験の対策、1、2年生に向けた進路学習の実施。

### ○成果

#### (1) 四年制大学合格者 9名 (1月20日現在)

センター試験受験者 20名

#### (2) 情報処理検定等1級合格者 今年度のべ：8名(昨年度のべ5名)

表計算2名、文書デザイン4名、プレゼンテーション1名、データベース1名  
硬筆検定(実用書道選択者)

#### (3) 英語検定合格者

昨年度：2級1名、準2級3名

今年度：3級3名 (2月現在)

#### (4) 全国模試

成績上位層の形成 2年11月進研模試 22名受験 偏差値50以上2科目で9名(数A・化学基礎)  
3年11月ベネッセ駿台マーク模試 17名受験 偏差値50以上6科目で6名  
(現・現古・数I・地学基礎・英語リスニング・生物基礎)

### ○課題

#### (1) 神坂学習塾の授業と学校の授業との連携強化。

#### (2) 特別進学コースの指導体制強化。

センター試験受験の動機付け。

## ○工夫・改善策

- (1) 特別進学コース生(神坂学習塾全員入塾)への学習・進路指導の充実。
- (2) 一般入試まで見据えた平日補習、特編授業の充実。  
模試受験指導を通じた学習集団の形成。
- (3) 各種検定試験や全国規模の模擬試験を動機づけとした学習指導を継続する。

② クラブ活動や生徒会活動における中高・地域交流等を継続的に図り、更なる活性化に努める。

## ○おもな取組

- (1) クラブ活動(神坂学習塾含む)全員加入と指導の充実
- (2) 中高連携と地域交流

## ○成果

- (1) 運動系クラブを中心に大会等での成果が出てきた。  
多くのクラブが県大会に進み、上位大会への進出を果たしている。
- (2) 運動系クラブを中心に、地域の中学校との交流が盛んになってきた。  
文化系クラブを中心に、地域の行事に積極的に参加できた。
- (3) おもな活動結果

部活名	大会名等	結果
空手道同好会	南信高校総合体育大会	男子団体組手 3位 県大会出場 男子団体形 4位 県大会出場
	県高校総合体育大会	男子個人形3位 北信越大会出場
	南信高校新人体育大会	個人形3位 県大会出場 男子団体組手 4位 県大会出場 男子団体形 4位 県大会出場
柔道部	南信高校総合体育大会	女子57kg級 県ベスト8 女子70kg級 県ベスト4
男子バスケットボール部	南信高校総合体育大会	準優勝 県大会ベスト8
	南信高校新人体育大会	準優勝 県大会ベスト16
男子バレー部	南信高校総合体育大会	3位 県大会ベスト16
	南信高校新人体育大会	5位 県大会ベスト4 北信越大会出場
	第72回全日本高等学校選手権大会	県大会ベスト8
ソフトテニス部	南信高校総合体育大会	男子個人 県大会出場
卓球部	南信高校総合体育大会	男子シングルス・ダブルス 県大会出場
バドミントン部	南信高校新人体育大会	6位 県大会出場

## (4) 中高連携と地域交流推進の具体的な取組

### ① 中高連携

- ア 野球部:少年野球連携事業(中学生への指導補助)
- イ サッカーボール部:阿智中学校合同練習(5回不定期)
- ウ ソフトテニス部:阿智中学校、旭ヶ丘中学校との合同練習(阿智2回・旭ヶ丘1回)
- エ 男子バスケットボール部:鼎中学校、春富中学校合同練習(鼎1回・春富2回)
- オ 男子バレー部:下伊那合同チーム(毎週末・中学生自由参加)  
旭ヶ丘中学校、緑ヶ丘中学校との合同練習(旭ヶ丘3回・緑ヶ丘3回)

### ② 地域交流

- ア ハンドメイキング同好会:山本ウォーキング、山本夏祭り、山本地区文化祭、  
国際ふれあい交流会、阿智スイーツコンテスト参加

- イ ボランティア同好会:阿智村駅伝、山本夏祭り、阿智村キャンプ運営協力、阿智祭運営協力
- ウ 美術部:若造展出品、ギャラリートークに参加、八十二銀行伊賀良支店展示、  
しんきん駒場支店展示
- エ 書道部:熊谷元一写真童話館(校外展)、八十二銀行伊賀良支店展示、  
南信州新聞社(今月の一文字・今年の一文字)
- オ 文化系クラブ:山本公民館、阿智村商工会との連絡会
- カ 野球部:阿智村駅伝大会参加

## ○課題

- (1) 運動系クラブによる中高交流や文化系クラブによる地域との交流の継続。  
文化系クラブによる地域の行事等を通じた中高交流。

## ○工夫・改善策

- (1) 1年次クラブ全員加入の徹底、各部・同好会活動の更なる活性化。  
年2回(4月と1月)クラブ加入状況を把握する。
- (2) 地元飯田下伊那の中学校や自治体との連携を強化。  
中学校へのPR活動、通知パンフレット等。
- (3) 部・同好会顧問の指導力向上。

③ 保護者や地域社会との連携をより深め、いじめや体罰のない安心安全で地域に信頼される学校づくりに努める。

## ○おもな取組

- (1) いじめアンケートについて学期に1回を目安とし実施。
- (2) いじめの定義について職員・生徒の共通理解を図り、初期対応の迅速さを重視した。
- (3) 阿智村生活・生徒指導ネットワーク支援会議との連携
- (4) 地域の方からの連絡・情報提供に関しては、教務にて連絡を受け、係が直ちに対応した。
- (5) 地域政策コース

- ① 地域政策コース4年目に入った。各エリア地域の団体・事業所等との連携を進めてきた。
- ② 農業エリアでは、トンキラ農園の一角を借りて収穫を行い、阿智祭などで販売した。観光エリアでは3年生が阿智☆星神観光局とタイアップしてリハビリ観光などユニバーサルツーリズムに携わった。2年生は全村博構想の一環として地元の駒場地区の歴史を学ぶとともに、駒フェスを開催した。福祉エリアでは点字や手話の学習や乳幼児の教育など、2年次より幅の広い学習を行った。
- ③ 学習成果発表会は昨年度と同様に阿智村中央公民館大ホールをお借りして実施した。
- ④ 名古屋産業大学から講師を呼び、講評をしていただいた。

## (6) 山本公民館との連携協定

## ○成果

- (1) 早期発見と早期対応、指導を図ることができた。
- (2) いじめについての職員の意識が向上した。
- (3) 情報提供に対し、迅速な対応ができた。
- (4) 地域政策コース

- ① 人前での発表やプレゼン、幅広い世代との交流を重ねたことで、自分の考えを整理して表現することや相手の要望をよく確認して行動することなどの力が向上し、コミュニケーション能力に幅ができた。
  - ア 2年生については進路意識の具体化、3年生については学習の成果を活かした進路実現にも一定の効果を得た。
  - イ 発表会を全校対象に行うことで、コースの取り組みを校内に周知する機会を得た。また公の施設で発表会を実施することで、地域住民にも情報を発信する機会を得た。来場者:協力団体関係者28人、保護者・一般16人、マスコミ2名
- ② 名古屋産業大学との連携
  - 地域政策コース:名古屋産業大学講師来校(成果発表会での講評)

## (5) 文化系クラブとの交流。組織的、計画的に実施。

## ○課題

- (1) いじめに関するアンケートでは訴えてこない生徒への対応(生徒への寄り添い)
- (2) 職員・生徒だけでなく保護者の方に対する、いじめの定義への認識向上。

## ○工夫・改善策

- (1) 保護者等への生活指導の様子、実態等について通知を工夫していく。
- (2) 地域政策コース

- ① コースの在籍数が増えることが予想されるため、実習場所への移動手段についてより一層の配慮を要する。
- ② 発表会以外にコースの取り組みを発信していく機会さらに増やしていきたい。
- ③ 今後阿智村と連携し、どう展開していくか考えていく。今年度は阿智村産業振興公社、(有)あちの里、(株)ちさと東、みなみ信州農協阿智支所、下伊那農業改良普及センターなどとタイアップできなかった。

## 2 具体的な目標について

### (1) 学習指導について

- ① 教育課程について
  - ア 特別進学コース…難関・中堅大学・短大・医療系への進学をめざす。
  - イ 総合進学コース…大学から専門学校等まで幅広い進学をめざす。
  - ウ 地域政策コース…地域資源を活かした体験型地域研究・課題研究発表等の学習を取り入れ、大学進学(推薦・AO入試など)、公務員等の地元就職をめざす。
  - エ 情報コース…商業系科目と資格取得に力を入れ、進学及び地元企業等への就職をめざす。
- ② 教科指導・授業研究について
  - ア 学校設定科目「地域政策」の実施  
二年次3単位(木曜日午前9:15～12:05)開講、三年次3単位(金曜日午前9:15～12:05)開講。  
「農業」「観光」「福祉」の3エリアに関する学習を行う。
  - イ 協力団体  
「農業」エリア…元地域おこし協力隊  
「観光」エリア…阿智☆星神観光局、阿智村協働活動推進課(大石真紀子さん、若林暁子さん)  
「福祉」エリア…夢のつばさ、介護ホームそら、あふち保育園、阿智荘、阿智村社会福祉協議会  
第二幸寿苑、飯田山本公民館、NPO法人よつば、地域おこし協力隊、  
阿智村教育委員会子育て支援室
- ③ 補習授業(神坂学習塾について)
  - ア 大学合格研究会の開催
    - ・ 月一回、全塾生参加の講義と演習
    - ・ 大学調べや推薦入試の説明、面接練習等進路指導の実施
    - ・ 英語検定新問題形式の説明と対策
  - イ 各種検定、行事等への積極的参加
    - ・ 合同進学ガイダンス(夢ナビライブ2018)へ参加(7月28日)
    - ・ 全国模試(進研)実施、英語検定への参加
  - ウ 中学生・保護者への広報活動
    - ・ 中学校への進路説明会へ専任講師参加
    - ・ 阿智高校体験入学での神坂学習塾の紹介と見学(7月21日)
    - ・ 中学生対象「神坂学習塾 体験・体感授業」実施(11月10日)
  - エ 地元自治体との連携
    - ・ 神坂学習塾「英会話教室」
      - 9月～11月の木曜日17:30～18:20に10回実施
      - 参加者平均10人
      - 講師は専任講師、専任講師の知人(ジョナサン・ヒギンズ氏)、生徒

- ・ 中学生対象の講座。  
阿智中学校が実施している「夏季休業中の学校(教室)開放」に  
専任講師が参加し指導の協力(英語、数学)
- ④ 人権・平和学習  
ア 人権平和学習(9/5 映画「聲の形」鑑賞)

## ○成果

- ① 進路意識の具体化、学習の成果を活かした進路実現にも一定の効果があった。
- ② 昨年に比べて多くの協力団体、地域の方々が学習成果発表会に来てくれた。また2年生が阿智村駒場地区で行ったイベント「駒フェス」には約150人の来場者があった。
- ③ 塾生一人ひとりに応じた個別指導の充実。  
塾生の学習意欲向上(定期テスト・模擬試験への取り組み、大学見学等への積極的参加等)

## ○課題

- ① 総合進学コースの特徴をどのように出していかか。
- ② 農業エリアでは、加工や販売実習など幅広い体験があまりできなかつた。
- ③ 神坂学習塾への本校職員の協力体制の強化。  
本校の指導内容・進路指導との連携の強化。  
特別進学コース生の学習・進路指導の充実。  
学力向上に向けた指導内容・指導方針の研究。

## ○工夫・改善策

- ① 協力団体との関係を再構築していく。
- ② 塾に対する塾生、教員、講師の意識統一  
学習塾連絡会の継続実施。  
運動部所属の塾生が通いやすいように時間割・日課・授業形態の変更。

## (2) 生活指導に関して

- ① 生徒の自律心の育成について
  - ア 挨拶、礼儀、身だしなみ、授業規律等の指導
    - ・ 各種の式、集会時、定期テスト時の服装風紀徹底(教職員も同様に正装で参加)。
    - ・ 学年集会を小まめに行い、授業規律と基本的な生活習慣について複数回指導。
    - ・ 自動販売機の利用は休み時間に制限。
  - イ 昇降口や校門での立ち番指導、校内外の巡視、バスの乗車マナー指導
    - ・ 風紀週間に生徒会と協力して実施。
    - ・ 校外巡視やバスへ職員が乗車してのマナー指導を定期的に実施。
  - ウ 携帯電話等の預かり指導について
    - ・ 朝HRIにて携帯電話等を各学年で預かり、放課後返却。
    - ・ 授業にかかる時間帯(休み時間も含む)の使用を禁止。
    - ・ 緊急の場合は職員に相談する。
- ② 問題行動や悩みを抱える生徒への対応について
  - ア 問題行動の未然防止(開発的生徒指導)
    - ・ 学期に1回を目安にいじめに関するアンケートや問題行動に関するアンケートを実施。
    - ・ 授業時間における職員の校舎内巡視。
  - イ 指導・支援の在り方について
    - ・ 対話を重視し、生徒自身に状況の説明や心情を聞きながらの指導を実施。
    - ・ コーディネーター、保健室、学校カウンセラー、外部機関の専門家との連携による指導・支援。
    - ・ 報告を速やかに行うとともに職員間の情報共有と指導の共通理解を徹底。

## ○成果

- ① ア 式、集会時における風紀指導を徹底することができた。  
頭髪・ピアス・制服については現在、ほぼ全ての生徒で問題がない。

- イ 日常的に生徒の状況を把握することができた。  
定期的に実施することで一定の効果はあった。
  - ウ 授業に落ち着いて取り組めている。
- ② ア アンケート結果をもとに生徒の気持ちに寄り添いながら迅速な対応ができた。  
アンケートへの記名は自由としプライバシーを大切にしながら記入・提出できるようにした。  
いじめや問題行動は許さないという雰囲気ができている。
- イ 担任を中心に生徒と対話をしながら指導を進められている。  
学校アンケートを用いて個人懇談のきっかけとした。  
コーディネーターを中心に学校カウンセラーや外部機関との連携ができた。  
職員の情報共有と共通理解を図ることができ指導が迅速に行えている。

## ○課題

- ① ア 繰り返し規律を守れない一部の生徒や怠学傾向の生徒への指導。  
全職員が共通理解を持って指導に当たる。
  - イ 教室外へ出てしまう生徒はいないが、授業によっては騒がしくなってしまう状態への対応が必要。  
女子生徒のスカートを中心とした風紀指導の徹底。
  - ウ スマホ(SNS)によるトラブルへの対応。  
SNSの利用の仕方について学習を進める必要がある。
- ② ア アンケートの内容を検討しながら、継続して実施する。  
授業中の徘徊等がなくなっているので巡回の観点を検討する。
- ③ イ 女子生徒を中心とした、人間関係トラブルへの対応。  
支援を必要とする生徒の特性や支援の方向についての共通理解が、さらに必要である。  
保護者や地域の方からの校外での生徒の様子について情報をいただく機会があるとよい。  
中学校時代の生徒の様子の把握不足。

## ○工夫・改善策

- ① ア HR、校内放送を利用した継続的な指導。  
自動販売機の利用制限時間を継続(朝、昼、放課後)。  
職員間での理解の徹底を図る。
  - イ 全職員の共通理解で指導に当たれるよう確認の徹底を図る。
  - ウ 行事等における携帯電話の使用に関しては、職員会にて検討する。
- ② ア アンケート内容をSNSに対する観点を多くしたものに改善していく。  
巡回における観点を見直していく。
- イ 生徒との面談の機会のとり方の工夫  
支援を必要とする生徒の共通理解及び研修機会を設ける。  
学校生活アンケートなどを積極的に活用する。  
保護者及び地域の方から校外での生徒の様子を聞く機会の工夫。  
各中学校との連携を深め、中学校時代の様子を加味した指導を行いたい。

## (3) 進路指導に関して

- ① 学年ごと段階に応じた説明会や進路指導、学習指導を実施。

### 全学年…

- ・ 進路希望調査(4月)
- ・ 校外学校説明会とりまとめ 主催:ライセンスアカデミー、さんぽう、昭栄広報
- ・ 校外医療体験とりまとめ(7月、8月) 飯田病院(2名)、健和会病院(2名)
- ・ 企業見学前の事前指導(5月、6月、11月)
- ・ 進路の手引き、進路便り等による進路情報の周知

### 3年…

- ・ 全国模試5回(のべ86名)、作文模試2回(全員)、SPIテスト2回(42名)、職業適性検査1回(47名)
- ・ 進路ガイダンス、講演、事前指導 (4/4、4/9、5/17、6/6、7/26、8/21、9/13、12/20)

- ・管内産業職場見学(5/21)、保護者向け就職説明会(6/22)、模擬面接(8/30)
- ・就職 出願指導(8月～12月)
- ・進学 推薦出願、センター出願、二次出願指導 (9月～2月)
- ・夏季補習、秋冬平日補習、特別編成授業を神坂学習塾と連携して実施 (8～1月)
- ・就職試験激励会9/13、センター試験激励会1/17
- ・新社会人に向けて、消費者トラブル、薬物禁止などの講演 (12月～2月)

**2年…**

- ・全国模試4回(のべ34名)、医療模試1回(7名)、基礎力診断テスト2回(全員)
- ・進路ガイダンス(7/11、11/28、2/20)
- ・キャリア教育(5/21) 松本大学、飯田コアカレッジ、エプソン情報科学専門、養命酒駒ヶ根工場、伊那食品、多摩川マイクロテップを見学
- ・企業展示説明会(11/28) 45名参加
- ・公務員対策講座(12/6、1/15、2/12) 6名受講中
- ・今年度3学年の指定校一覧の掲示、求人一覧の配布(12月)

**1年…**

- ・全国模試2回(のべ35名)、基礎力診断テスト3回(全員)
- ・キャリア教育(6/6) 養命酒駒ヶ根工場、夏目光学、KOA七久里の杜、旭松食品、JICAを見学
- ・進路ガイダンス(2/20)
- ・学力診断テストの事前補習、事後補習(12月、1月)

## ② 職員による企業訪問

### ○成果

- ① 四年制大学9名合格(1月20日時点)、センター試験20名受験、就職希望者100%内定。
- ② 卒業生就労先24社29名を訪問。就労状況や採用計画を把握し在校生の指導に活かした。6月時点で離職者なし。

### ○課題

#### ① 公募・一般受験を乗り切る学習集団の形成

模試と夏補習で集団の核を形成したが維持できず、多くは公募推薦から指定校推薦に志望変更した。9月以降も集団は十分真面目だったが、公募・一般受験に臨む生徒が少数のため士気を保つことは難しかった。特編も同様。また、医療系、就職において学力と進路研究が不足している。(3年)

### ○工夫・改善策

- ① 1年次から学力到達ゾーン(GTZ)の把握とそれをふまえた指導が必要。3学年の進路反省を踏まえて、12月より1～2年のGTZを共有し、1学年で基礎力診断テストの事前・事後補習を始めた。また2年の医療系と公務員志望者はガイダンスと対策講座、医療模試を始めた。
- ② 離職防止に効果があると思われるため、2年の企業展示説明会参加と職員の企業訪問を継続する。

### (4) 生徒会に関して

- ① 自主的・自治活動の活性化(定期的な総務会、中枢委員会の実施)
- ② クラブ活動の活性化

### ○成果

- ① 文化祭・生徒会総務会を中心に生徒が前面に出て積極的に生徒会を運営した。  
清掃美化委員会・緑化委員会を中心に、清掃用具の点検と整備、校内美化のための意識向上と清掃への取組強化のための活動に取り組んだ。
- ② 運動系・文化系クラブの活性化  
部活動での阿智村、飯田山本地区、根羽村の地域行事への参加・協力。  
地域行事等の参加により目標を持ち、充実しつつある(文化系クラブ)

### ○課題

- ① 生徒が自主的に提案・企画・立案する活動の促進  
さらに活動を広げるための方策(地域清掃等の実施方法等)。  
文化祭について、日程・内容の充実。  
校内美化の徹底。

あいさつ運動や清掃美化運動を学校全体として活発にしていく。

- ② 生徒の自主的・主体的な活動の促進。

個々の部・同好会のさらなる活性化と地域とのつながり。

## ○工夫・改善策

- ① 生徒会総務会を中心に地域のために何ができるか議論の継続(地域清掃等)。

校外の方と他校生徒会生徒との交流。

文化祭の内容について、校内外様々な意見を聞き、充実した文化祭の実施。

委員会を中心に、生徒会でどのように取り組んでいくか検討(総務会)。

- ② 新入生に対する4月当初の部活動紹介等での働きかけ。

## (5) 学校経営に関して

- ① 地域の要望・意見を聞く

・ 学校評議員会 第1回(5/24) 第2回(9/19) 第3回(2/20)

・ 地区PTA懇談会(6/17~21)

・ 地元中学校との職員交流会:旭ヶ丘(11/14)、阿智・根羽(11/18)

- ② 学校公開及び広報活動

・ PTA総会(4/20)にあわせての授業公開 来校者69名(昨年度は66名)

・ 授業公開週間(10/21~10/25) 神坂学習塾公開を含む

・ 神坂学習塾体験体感授業(11/9)

飯田下伊那地区より中学3年生13名が参加。

・ 中学校訪問を実施(飯伊地区4校訪問)

学校案内、阿智高レターを中学3年生全員に配布

- ③ 学年通信、学級通信、進路便りなど生徒・保護者への連絡体制の充実。

- ④ 匿名性を担保した生徒による授業評価の実施(9/12・1/9)。

## ○成果

- ① 要望・意見をまとめ、職員会議に報告

地区PTA懇談会で出された学校に対する意見や要望については、各担当部署で対応を協議し回答書を作成、PTA評議員会で報告。

- ② 飯伊地区的全中学を訪問。神坂学習塾やコース制について中学3年生や教職員に説明し、理解を得た。

- ③ 各家庭、職員、生徒間の連絡手段として活用することができた。

- ④ 結果を職員に周知し授業改善に生かした。

## ○課題

- ① 各部署での検討と対策のすみやかな実行。

- ② 継続的かつ効果的な広報活動。

- ③ プリントでの連絡や通知が保護者に届かないことがある。

オクレンジャーについては必要に応じて使用することができた。台風19号における安否確認に利用できた。

## ○工夫・改善点

- ① 引き続き、速やかに対応し、適切に回答していく。

- ② 授業公開は、中学生や保護者が参加しやすい日程を検討。

- ③ オクレンジャーの登録促進

事前に連絡方法を充分検討する(通知、オクレンジャー、直接郵送等)